

R・シュトラウス作曲 楽劇「サロメ」

160104

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物				見どころ・聴きどころ	
全一幕 105分	1	ヨハネの虜 になるサロメ	美しい月夜のもと、ヘロデ王宮のテラスの階段で、傭兵隊長ナラポートが、サロメの美しさを讃え続けている。井戸からは、ヨハネが「イエスの到来」を告げている。	7				ヨハ ネ	ナラ ポート	
	2		サロメは、自分への義父ヘロデのいやらしい視線と、ユダヤ人、エジプト人、ローマ人と同席することが耐えられなくなり、宴席を抜け出してきた。再度のヨハネの予言を聞いたサロメは、興味を持ち、傭兵隊長ナラポートに命じて井戸からヨハネを連れてこさせる。	8	サロ メ			ヨハ ネ	ナラ ポート	
	3		地上に上がったヨハネは、不貞なヘロデとヘロディアスについてだけでなく、サロメに対しても、イエスに会って懺悔するよう説教する。 主義主張のはっきりしているヨハネに一層興味を示すサロメは、ヨハネの近くに行き、 ①ヨハネの「白い体」に触れようとするが、汚らしいので触れるのをやめる。 ②ヨハネの「黒い髪」に触れようとするが、汚らしいので触れるのをやめる。 ③ヨハネの「赤い口」にキスを望むが、ヨハネから拒否される。	40 20				ヨハ ネ	ナラ ポート	ヨハネに接触を 3回求める 自殺するナラポート
	4		ヨハネは、再度サロメに対してイエスに懺悔しに行くよう、言うが、サロメが執拗に8回もキスを求めるので、「サロメは呪われている」と言い、井戸に戻る。	5	サロ メ			ヨハ ネ		ヨハネにキスを 8回求める
間奏曲				5						
	1	踊るサロメ	ヘロデがサロメを見つ続けるので、ヘロディアスからたしなめられながらも、サロメに、 ①サロメが飲んだ杯の後を自分が飲み干したいと言うが、喉が渇いていない、と断られる。 ②サロメが食べた果物のかじり跡を見たいと言うが、腹が空いていない、と断られる。 ③玉座に座らせてあげるのでもそばに座れと言うが、疲れていない、と断られる。	7	サロ メ	ヘロ デ	ヘロディ アス			
	2		井戸から預言者ヨハネが、再度、「イエスの到来」を予言する。 5人のユダヤ人、2人のナザレ人達が、救世主について議論している。	20 8		ヘロ デ	ヘロディ アス	ヨハ ネ		
	3		井戸からヨハネが、次に、ヘロディアスらしき女性を非難している。 ④ヘロデはサロメに、悲しいので踊ってくれと言うが、その気にならない、と断られる。 ⑤しかし、サロメは、この国の半分でも望む物は何でもやる、といわれ、踊ることにする。	5	サロ メ	ヘロ デ	ヘロディ アス	ヨハ ネ		
7つのヴェールの踊り				10					踊るサロメ	
	1	ヨハネの 唇にキスする サロメ	踊り終わったサロメは、「銀の盆に載ったヨハネの首」を求める。(1回目) サロメは、ヘロディアスでなく自分の意向であることを明言する。 ヘロデは、首以外のものを6回提案するが、サロメは、その都度、「ヨハネの首」を求める。 ②ヘロデは、国の半分以上をあげるからと言う。 ③ヘロデは、エメラルドを与えると言う。 ④ヘロデは、自分の言うことを聞くと言う。 ⑤ヘロデは、孔雀を与えると言う。 ⑥ヘロデは、自分に不幸をもたらすからと言う。 ⑦ヘロデは、司祭の服を与えると言う。	12	サロ メ	ヘロ デ	ヘロディ アス			7回、首を求める
	2		ヘロデは、ついにサロメの求めに応じることにする。 ヘロディアスは、ヘロデの指輪を抜き取り首切役人ナーマンに渡す。 首切り役人がなかなか持ってこないで、サロメは、ヘロデに急ぐ指示を出すように言う。	30 3	サロ メ	ヘロ デ	ヘロディ アス			
	3		首切役人が、古井戸からヨハネの首を盆に載せて、持ってくる。 サロメは、燃え上がった恋心を無視され、王女としてのプライドを侮辱された、と言いつつ、 ヨハネの美しさを讃え、高潮も津波もこの欲望の火を消せないと言いつつ、口にキスする。 ヘロデは、ヘロディアスに「化け物だ。」と言い、兵士達に「サロメを殺すよう」指示する。	15	サロ メ	ヘロ デ	ヘロディ アス			銀の盆が登場

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。